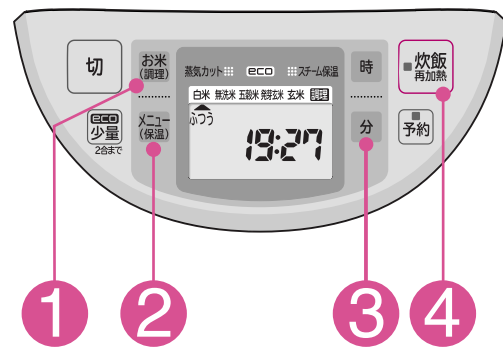
調理をする（煮込み、雑炊、蒸し、温泉卵、ケーキの調理）
〈バラエティー調理〉

⚠警告

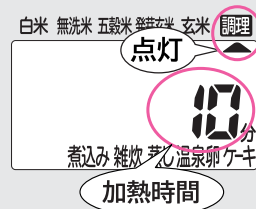
●取扱説明書・料理集に記載の炊飯および調理メニュー以外の用途には使わない
●調理中はふたを開けない
ふたをやむを得ず開けるときは、「切」ボタン押して調理を中止してから（約30秒後）、ふたを開けてください。（やけどに注意してください）

⚠注意

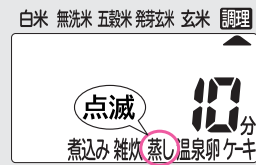
調理をするときは調理メニューを確認する
水量の多い「雑炊」を他の調理メニューで間違えて炊くと多量にふきこぼれて危険です。

表示は「蒸し」の「40分」を選んだ場合の例

1 お米（調理）を押し、▲を「調理」に合わせる

●ボタンを押すごとに▲が移動します。

●調理メニューは蒸気が出ます。

2 メニュー（保温）を押し、希望の調理メニューを点滅させる

●ボタンを押すごとに点滅が移動します。

●選んだメニューは、調理すると記憶されます。

●「雑炊」の加熱時間の設定はできません。ごはんの温度や具材の量により、自動設定されます。

加熱時間を表示しません。

3 分を押し、加熱時間を設定する

●ボタンを押すごとに時間が変わります。

10分から5分単位で90分まで設定できます

4 炊飯（再加熱）を押す

メロディー（ブザー）が鳴って加熱開始
●炊飯（再加熱）ランプが点灯します。

▼

メロディー（ブザー）が鳴ったら加熱終了
調理品を別の容器に移します

お願い ●内がまで調理品の保温や保存はしないでください。
（内がまのフッ素被膜が傷みます）

終了時間まで残り加熱時間を分単位表示

●加熱時間や調理のしかたは料理集を参照してください。

煮込み → P.51
雑炊 → P.54
（加熱時間は自動設定されます）
蒸し → P.54
温泉卵 → P.59
ケーキ → P.60

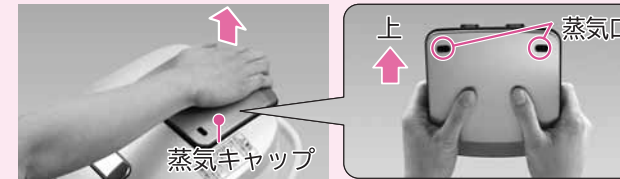
お手入れ

⚠警告 お手入れは、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う（やけどの原因）

お願い
●ベンジンやシンナー、漂白剤、みがき粉、アルカリ性洗剤は使わないでください。（表面を傷つける原因）
●洗剤は食器用洗剤（中性）を使ってください。（表面を傷つける原因）
●スポンジなどのやわらかいもので洗い、たわし、ナイロンたわしは使わないでください。（表面を傷つける原因）
●食器乾燥機や食器洗い乾燥機は使わないでください。（変形・変色の原因）

蒸気キャップ（使うたびに洗う）

本体から外して、食器用洗剤（中性）を使いスポンジなどのやわらかいもので洗ってください。

1 蒸気キャップをふたから外す

蒸気キャップは、中のつゆがこぼれないように、蒸気口を上にして立てて持ってください。

2 ボタンを押しながら、蒸気キャップを開く

3 蒸気キャップ本体と、蒸気キャップカバーの汚れや詰まりを洗い落とす

4 蒸気キャップを「カチッ」と音がする（ボタンがロックする）まで確実に押し込む

蒸気キャップカバーのツメを蒸気キャップ本体の引っ掛け部に差し込んでから（2ヶ所）閉めてください。片側のみ（1ヶ所）を差し込んだ状態だと、蒸気キャップを閉めるときに、ツメが破損することがあります。

5 蒸気口を手前にしてふたに取り付ける

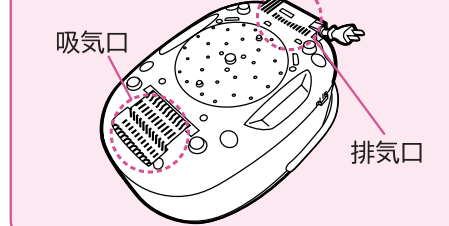
本体・ふた（汚れのつど）

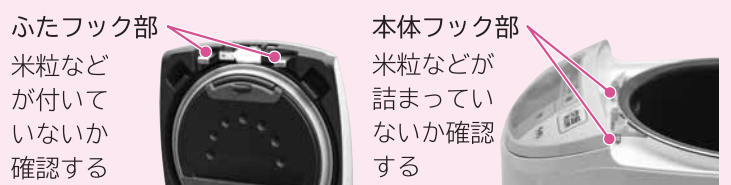
●固くしぼったふきんでふく。
●水洗いはしないでください。

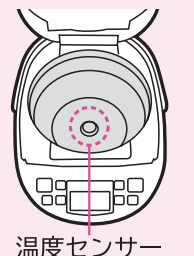
しゃもじ・蒸し板（使うたびに洗う）しゃもじ受け・計量カップ（汚れのつど洗う）

●食器用洗剤（中性）を使い、スポンジなどのやわらかいもので洗ってください。

吸気口・排気口（月に1度程度）

●吸気口・排気口のごみを掃除機で吸い取る。

フック部（炊くたびに確認）

●米粒などが詰まってふたが「カチッ」と閉まらないときは、ようじなどでかき出してください。

温度センサー（炊く前に確認）

●こびりつきができたら、細かい耐水性紙ヤスリ（600番程度）に水をつけてこすり落とし、固く絞ったふきんでふき取る。
●水洗いはしないでください。

お手入れ つづき

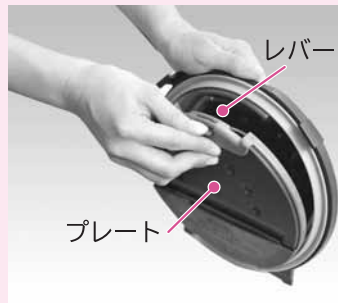
給水レスオートスチーマー【プレート、ふた加熱板】(使うたびに洗う)

●給水レスオートスチーマーは、ふた加熱板とプレートの組み合わせです。
●ふたから外して、食器用洗剤(中性)を使いスポンジなどのやわらかいもので洗ってください。

1 給水レスオートスチーマーをふたから外す

ふたつまみを持ちながら、着脱レバーを上方向に押し上げて外す。

2 給水レスオートスチーマーを、ふた加熱板とプレートに分ける

プレートのレバーを押し下げてプレートを外す。

プレートに付いているパッキンは外れないので、引っ張らないでください。変形するとプレート内にたまる水が少なくなります。

3 プレートの汚れや詰まりを洗い落とす

4 ふた加熱板の汚れや詰まりを洗い落とす

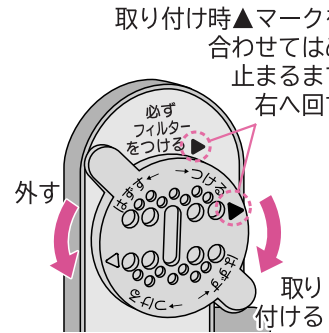
調圧弁(炊く前に確認)

●調圧弁の裏側を洗ってください。また、フィルターを外して調圧弁の表側も洗ってください。異物が詰まっているときは、綿棒などで取り除いてください。

フィルター(使うたびに洗う)

●フィルターにごはんなど異物が詰まっているときは、外して洗ってください。洗った後は忘れずに取り付けてください。

■外しかた
左に回して手前に引く。

■取り付けかた
▲マークを合わせて差し込み、「カチッ」と止まるまで右に回す。

安全弁(炊く前に確認)

●安全弁(中央部)にごはんなど異物が詰まっているときは、綿棒などで取り除いてください。
●安全弁は綿棒などで中央部を2～3度押して動くことを確認してください。

ふた加熱板・ふたパッキン(使うたびに洗う)

●一緒に洗ってください。
●ふたパッキンは外れないので引っ張らないでください。変形すると、圧力がかからずうまく炊けない原因になります。

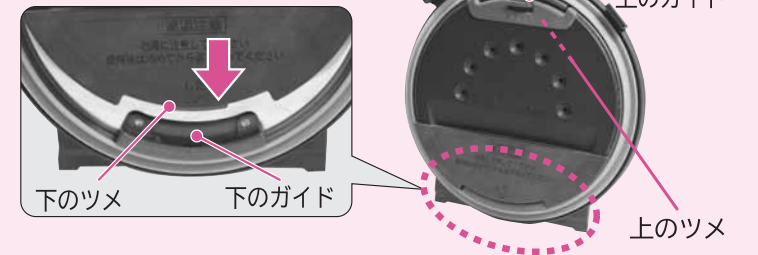
お願い
ふたパッキン、調圧弁、安全弁、負圧弁は、ふた加熱板から外れません。

負圧弁(使うたびに洗う)

●外れないので引っ張らないでください。変形すると、圧力がかからずうまく炊けない原因になります。

5 ふた加熱板にプレートを取り付ける

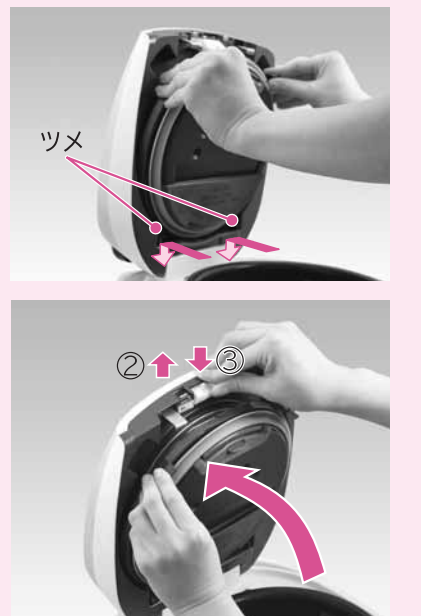
プレートは、逆さに取り付けないでください。

①ふた加熱板の下のガイドに、プレートの下のツメを差し込む。
②上のガイドにプレートの上のツメを合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

6 給水レスオートスチーマーをふたに取り付ける

①ふたパッキンを手前にして両側のツメをふたの溝に差し込む。

ツメは、片側のみを差し込んだ状態だと、ふたを閉めるときに、ツメが破損することがあります。

②着脱レバーを上方向に押し上げながら、ふた加熱板の上側を押し込み、
③着脱レバーを下げる。

付け忘れて炊くことを防ぐため、給水レスオートスチーマーを取り付けないと、通常の力ではふたが閉まりません。

ふた加熱板の錆(サビ)防止について

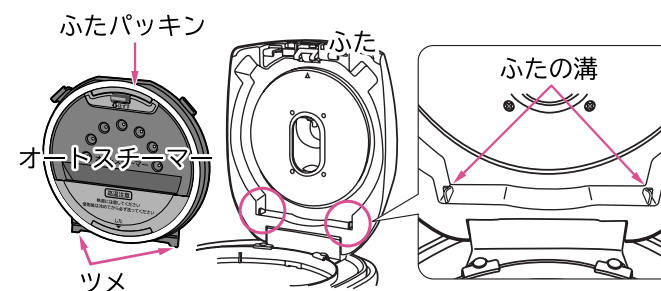
ふた加熱板はステンレス製ですが、水分が残っていると錆(サビ)が発生することがあります。
ふた加熱板は、使用後きれいに洗い、水分をよくふき取ってください。

錆(サビ)が発生してしまったときは

●クリーム(液体)クレンザーを直接かけるか、やわらかいスポンジまたはキッチンペーパーにつけて、こすり取ってください。
●その後は、ふた加熱板をよく洗ってください。
●錆(サビ)によっては完全に落ちないものもありますので、こまめにお手入れしてください。

調味料を使った料理

●炊込みごはんや調理、雑炊などの後は、すぐに洗ってください。汚れたまま放置すると、においが発生したり、場合によっては、腐敗や錆(サビ)の原因になります。

給水レスオートスチーマーを取り付けるときのご注意

両側のツメがふたの溝に差し込まれていないと、ふたを閉めるときにツメが破損したり、変形することがあります。

両側のツメが溝に差し込まれている

ツメが溝に差し込まれていない

お手入れをする

お手入れ つづき

内がま(使うたびに洗う)

●本体から外して、食器用洗剤(中性)を使いスポンジなどのやわらかいもので洗ってください。
●内がまが変形するとおいしく炊けなくなることがあります。取り扱いはていねいにお願いします。
●使用中、色むらができることがありますが、性能や、衛生上の支障はありません。

内がまの内側
●内側のフッ素被膜を傷めないために、次のことをお守りください。
・付属のしゃもじを使う
・金属製のおたまや泡立て器などを使わない
・スプーンや茶わんなどを入れて洗わない
・酢は使わない
・みがき粉やたわしで洗わない
●内側のフッ素被膜は、ご使用により消耗しますので、大切にお使いください。
●フッ素被膜は、人体への害はありません。

内がまの外側
●水分が残っていると錆(サビ)やすくなります。早めにふき取ってください。
●外側をキッチンペーパーなどでふかないでください。

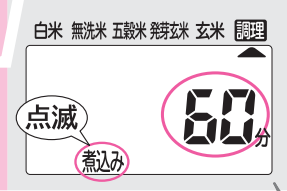
お願い
●内がまを取り出すときは、両手でまっすぐ上に引き上げてください。片手で引き上げると本体に引っかかり、取り出しにくくなります。
●**内がまには炊飯・保温に優れた性能を発揮する特殊な「溶射打込み鉄製法」を採用しています。(KVタイプのみ)**
特殊製法により、内がまはやや重たく、外側はザラツキがあります。本体への出し入れの際には、本体とこすれて内がまにプラスチックの粉がつく場合がありますが、使用上の問題はありません。スポンジで洗って落としてください。また、流し台に底面を強く押し付けますと、流し台に擦り傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

においが気になるときは

●炊込みごはん・雑炊・調理や保温の後のにおいが気になるときは、湯をわかし、蒸気でにおいを軽減することができます。

1 内がまに水を入れる
●水の量は、
1.0Lタイプでは「白米(無洗米)」の水位目盛2まで、
1.8Lタイプでは「白米(無洗米)」の水位目盛4まで。
※水以外(洗剤など)は入れないでください。

2 お米(調理) を押し、▲ を「調理」に合わせる

3 メニュー(保温) を押し、「煮込み」を点滅させ、加熱時間を「60分」に設定する

4 炊飯 再加熱 を押す
●メロディー(ブザー)が鳴り、炊飯(再加熱)ランプが点灯します。

5 メロディー(ブザー)が鳴ったら加熱終了
●炊飯(再加熱)ランプが消灯します。

6 本体が冷めてからお湯を捨て、水滴をふき取る

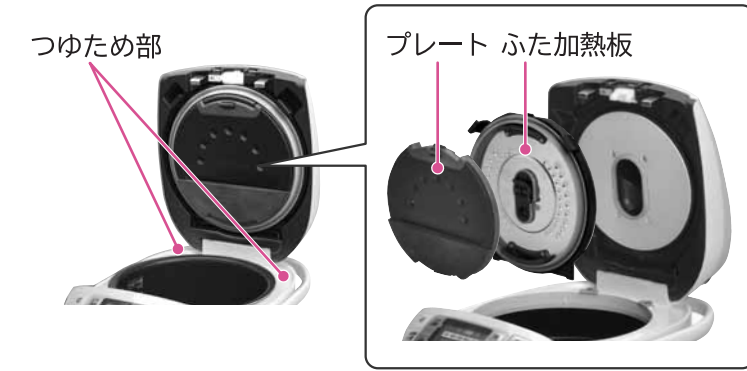
それでもにおいが気になるときは
①ふた加熱板・プレートの入る大きさの鍋・フライパンなどに食塩水(1%程度)を入れ、湯をわかす。
②湯がわいたら弱火にし、ふた加熱板・プレートを入れて15分程度加熱する。
③湯を捨て、ふた加熱板・プレートが冷めたら水洗いする。
●空だきするとプラスチック部が変形しますので、ご注意ください。

●「調理」「煮込み」以外の炊きかた・調理メニューでは、圧力がかかるため、湯がふき出るおそれがあります。(やけどの原因)

●終了直後は、内がまやふた加熱板が熱くなっていますので、本体が冷めてからお湯を捨て、水滴をふき取ってください。
●においによっては、完全に落ちないものもあります。

給水レスオートスチーマーについて

給水レスオートスチーマーは、炊飯中の蒸気を蒸留水として回収し、炊飯時・保温時・再加熱時にスチームを出し、ごはんの甘みを引き出し、加湿する機能です。(水を入れる必要はありません)

つゆため部　プレート　ふた加熱板

⚠注意

●ふた加熱板は冷めてから外す
●プレートは冷めてから外す
(熱湯がこぼれるおそれ)

●使用中や使用直後は、内がま、ふた加熱板、プレートや蒸気キャップなどの高温部に触れない

●給水レスオートスチーマー内にたまる水の量は、メニューや炊飯量、水加減などで変わります。
●給水レスオートスチーマー内の水1mLが蒸発すると約1600mLの蒸気になります。蒸らし中に弁を閉じ蒸気を閉じ込めていますので、内がまの中には十分な量の蒸気が充満しています。
●プレートを付けないと、スチームによる加湿効果が得られなくなります。
●炊飯(蒸らし)終了後・保温中はスチームで加湿しているため、 給水レスオートスチーマーの表面にもつゆが付きますが、故障ではありません。また、ふたを開ける際にそのつゆがたれて、本体のつゆため部にたまります。たまったつゆは、炊飯・保温時のごはんの品質にはまったく影響はありませんが、気になる場合はふきん等でふき取ってください。
●炊飯するたびにふた加熱板とプレートを外して洗ってください。
(おねばが乾燥・変色したものがたまる原因)(保温しない場合は水がたまりすぎてごはんにたれる原因)
●お手入れは、本体が冷めてからスポンジなどのやわらかいもので洗い、たわし、ナイロンたわしは使わないでください。
(表面のフッ素被膜を傷つける原因)

炊飯直後のプレートのつゆが気になるときは

●ごはんの表面の乾燥を防ぐため、炊飯直後のふた加熱板・プレートにはつゆが付きます。つゆが気になるときは、蒸らし時間を長くしてつゆを少なくするモードに切り替えることができます。

つゆを少なくするモードに切り替えるときは

炊飯中に メニュー(保温) を約5秒間押し続ける
ピーとブザーが鳴り、「Hi」と表示(2秒間)されたら切り替え完了
●その後元の表示に戻ります。

元に戻すときは

炊飯中に メニュー(保温) を約5秒間押し続ける
ピーとブザーが鳴り、「Lo」と表示(2秒間)されたら切り替え完了
●その後元の表示に戻ります。

つゆを少なくするモードに切り替えると
●炊飯時間が約5分長くなります。
●プレート内にたまる水が少なくなります。
●圧力式で密閉度が高いため、つゆを少なくするモードに切り替えても多少つゆが付きます。

お困りのときは

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください。

炊飯について

こんなときは	ここを確認
●軟らかい ●ベタつく ●硬い ●芯がある ●生煮え ●ムラがある	**お米の量と水加減** ➔ P.14､17､19 ●お米の量は付属の計量カップで計り、炊きかたごとの「炊飯できる量」を超えないようにしてください。 ●軟らかいときは水加減を少なめ、硬いときは水加減を多めにします。 ●予約炊飯は水加減を少なめにしてください。 （お米の吸水増加による、軟らかい炊き上がりを防ぎます） **洗米** ➔ P.14 ●白米は、すすぎ水がきれいになるまですすぎます。 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **洗米や炊飯に使う水** ➔ P.14 ●洗米は、水で行い、お湯は使わないでください。（ベタつきの原因） ●アルカリ度の高い水で炊飯すると、ごはんがベタついたり、黄変する場合があります。また、硬度の高い水(海外のミネラルウォーターなど)で炊飯すると、ごはんがぱさついたり、硬くなる場合があります。お好みにより水加減してください。 **ごはんのほぐし** ●炊き上がったごはんは、すぐにほぐします。 （余分な蒸気でのベタつきやにおいの発生を防ぎます） **内がまの底や温度センサーの汚れ** ➔ P.25､28 ●異物を取り除きます。 **炊飯の中断** ➔ P.16､18 ●炊飯中に「切」ボタンを押した、電源プラグを抜いた、停電したなどで炊飯が中断すると、うまく炊き上がらない場合があります。 **電源** ●延長コードを使ったり、同じコンセントで他の電気製品を同時に使うと、電圧が下がりうまく炊き上がりません。延長コードは使わないで、コンセントは単独で使ってください。
●焦げる	**大火力で炊飯するため、白米はうすいきつね色に、その他のお米はきつね色に焦げることがあります。異常ではありません。** **洗米** ➔ P.14 ●白米は、すすぎ水がきれいになるまですすぎます。 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **内がまの底や温度センサーの汚れ** ➔ P.25､28 ●異物を取り除きます。 **炊きかたの確認** ●少量のごはん(1.0Lタイプ:2カップまで、1.8Lタイプ:3カップまで)を「少量炊飯」コースを選ばないで炊くと、炊飯時間が長くなり、ごはんの底がうすいきつね色に焦げることがあります。「少量炊飯」コースを選んでください。

炊飯について

こんなときは	ここを確認
●ふきこぼれる	**炊飯中は蒸気キャップから勢いよく蒸気が出ることがあります。圧力を抜くためで、異常ではありません。** **お米の量と水加減** ➔ P.14 ●多めの水加減は、水位目盛の「軟」までにします。 ●お米の量は付属の計量カップで計ります。 **洗 米** ➔ P.14 ●白米は、すすぎ水がきれいになるまですすぎます。 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **部品の汚れ、目詰まり** ➔ P.25～27 ●蒸気キャップ、プレート、フィルターの異物や目詰まりを取り除きます。 **部品の取り付け** ➔ P.25～27 ●蒸気キャップ、プレート、ふた加熱板は忘れずに取り付けてから炊飯してください。 **炊きかたの確認** ●水量の多い「雑炊」を他の調理メニューで間違えて炊いたり、「おかゆ」を他の炊きかたで炊くと、多量にふきこぼれて危険です。
●炊きかたにより蒸気が出たり出なかったりする	**蒸気を閉じ込めて、圧力をかけていますので、炊飯中は蒸気口に手や顔を近づけないでください。** ●炊きかたによっては炊飯の途中で蒸気が出ます ●炊飯中に動かしたり、揺らすと勢いよく蒸気が出ます **壁や家具の近く、またキッチン用収納棚を使うときは、中に蒸気がこもらないようにしてください。**
●ごはんの中央がくぼむ ●うすい膜ができる	**この炊飯器はIH加熱で内がま自体が発熱するので、お米がしっかり対流し、中央部がくぼんだり、内がまに触れているごはんが白く見えることがあります。異常ではありません。うすい膜はごはんから出たうまみの素で、でんぷんがうすい膜状になったものです。大火力でうまみの素をたくさん出すためです。異常ではありません。**
●炊込みごはんがうまくできない	**調味料や具の入れかた** ●水に調味料を入れて水加減し、調味料が底にたまらないようによく混ぜます。 ●具は水加減した後にお米の上にのせて炊飯し、炊き上がってから混ぜます。 （調味料や具が沈殿すると、熱がうまく伝わらない場合があります） **調味料、具の量** ●具の量は、お米の量の3～5割が適量です。油の多い具は少なめにします。 ●たまり醤油は少なめにします。 **炊飯方法** ➔ P.18 ●すぐ炊飯し、予約炊飯や浸し炊飯はしないでください。 （具の変質や調味料の沈殿してうまく炊けません）

お困りのときは つづき

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください。

	こんなときは	ここを確認
炊飯について	●おこわがうまくできない	おこわは、もち米1カップに対し、白米(うるち米)を0.5カップの割合を目安に混ぜて炊飯します。(もち米だけでは炊飯できません) → P.19
	●雑炊がうまくできない	**だし汁の量** ●だし汁は、お米と具が隠れる程度に入れ、入れすぎないでください。 **卵の入れかた** ●卵は溶き卵にして、炊き上がった雑炊に全体にかけるように入れてください。
	●炊飯時間が長い	浸しや蒸らしも自動で行うため、マイコン制御のない炊飯器(ガスがまなど)に比べ時間が長くかかります。異常ではありません。 **お米の量と水加減** → P.14、17、19 ●お米の量は付属の計量カップで計り、炊きかたごとの「炊飯できる量」を超えないようにしてください。 **洗 米** → P.14 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **炊きかたの確認** ●少量のごはん(1.0Lタイプ:2カップまで、1.8Lタイプ:3カップまで)を「少量炊飯」コースを選ばないで炊くと、炊飯時間が長くなることがあります。「少量炊飯」コースを選んでください。 **炊飯の中断** ●炊飯中に停電があると、停電時間分長くなります。
	●ごはんや内がまなどがにおう	使い始めにプラスチックやゴムのにおいを感じることがあります。ご使用とともに少なくなります。また炊込みや調理の後もにおう場合があります。異常ではありません。 **洗 米** → P.14 ●白米は、すすぎ水がきれいになるまですすぎます。 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **ごはんのほぐし** → P.16 ●炊き上がったごはんはすぐにほぐします。(余分な蒸気でのベタつきやにおいの発生を防ぎます) **炊飯方法** → P.20 ●夏場は予約時間の長い予約炊飯はしないでください。 **炊飯の中断** ●炊飯中に「切」ボタンを押した、電源プラグを抜いた、停電したなどで炊飯が中断すると、うまく炊き上がらず、においが発生する場合があります。 **部品の汚れ** → P.25～27 ●蒸気キャップ、プレート、ふた加熱板の汚れを取り除きます。
	●多量につゆがつく	圧力式で蒸気が抜けにくいため、炊飯直後にふたを開けるとつゆがたれることがあります。異常ではありません。 → P.29

	こんなときは	ここを確認
炊飯について	●ごはんの中にプレートが落ちている	プレートは安全な材質でできています。万一、一緒に炊飯しても衛生上の支障はありません。プレートは確実に取り付けてください。 → P.26、27
保温について	●におう ●黄変する	長時間の保温や再加熱の繰り返しは、におい・黄変が発生します。異常ではありません。 **保温ごはん** → P.22 ●しゃもじを入れたまま保温しないでください。また、冷えたごはんを保温しないでください。 **洗 米** → P.14 ●白米は、すすぎ水がきれいになるまですすぎます。 ●無洗米は、水がにごるときはすすぎ、よくかき混ぜてお米と水をなじませます。 **ごはんのほぐし** → P.16、22 ●炊き上がったごはんはすぐにほぐします。また、保温中もときどきほぐしてください。(余分な蒸気でのベタつきやにおいの発生を防ぎます) **部品の汚れ** → P.25～27 ●蒸気キャップ、プレート、ふた加熱板の汚れを取り除きます。
	●乾燥する	長時間の保温や再加熱の繰り返しは、ごはんを乾燥させます。異常ではありません。 **保温ごはんの量** → P.22 ●少量のごはんを保温するときは、中央に盛ります。 **部品の汚れ** → P.25～28 ●内がまの底やふち、温度センサー、ふたのパッキンの汚れを取り除きます。 **部品の取り付け** → P.25～27 ●蒸気キャップ、プレート、ふた加熱板は忘れずに取り付けて保温します。
	●つゆがつく ●ベタつく	ふたの内側や内がまにつゆがつくのは乾燥を防ぐためです。また保温は温度を自動的に切り替えるため、温度が下がるときにつゆがつくことがあります。異常ではありません。 **ごはんのほぐし** → P.16、22 ●炊き上がったごはんはすぐにほぐします。また、保温中もときどきほぐしてください。(余分な蒸気でのベタつきやにおいの発生を防ぎます) **保温ごはんの量** → P.22 ●少量のごはんを保温するときは、中央に盛ります。
	●ごはんの温度が低い	**保温コース** → P.23 ●ごはんの温度が低いと感じるときは、保温のコースを「保温2」に切り替えます。
	●再加熱ができない	本体が熱い(炊飯終了後、再加熱後)、および冷たいときはブザーが鳴り、再加熱できません。 → P.23

お困りのときは つづき

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください。

こんなときは			ここを確認
予約炊飯について	●すぐに炊き始める ●予約時刻に炊き上がらない		予約時刻は炊き上がり時刻の予約です。現在時刻に近い予約は、すぐに炊き始めます。また炊飯時間が必要なため、予約時刻に炊き上がらないときがあります。時計の現在時刻を確認し、ずれているときは合わせてください(時計は24時間時計です)。浸し炊飯の浸し時間は、炊き上がり時間ではありません(お米を浸す時間です)。 → P.20､21
音について	●使用時にいろいろな音がする		炊飯･保温中など使用時には次のような音がします。異常ではありません。 電源プラグ差し込み時：カチッ(火花も出る) インバーター回路への充電音 使用時(炊飯･保温など)：シュー 蒸気(圧力)を抜く音／カチッ 圧力調整装置の動作音／ブーン 冷却ファンの回転音／カチッ ジー 内がまのIH加熱音
液晶表示について	炊飯時間	●いっきに変わる	おいしく炊き上げるために、炊飯内容を自動的に調節します。そのため炊飯途中で炊飯時間表示がいっきに変わることがあります。異常ではありません。
	炊飯時間	●表示されない	「白米」「無洗米」の「ふつう」「極上」「極上新米」「快速」､「五穀米」の「ふつう」以外の炊きかたは炊飯時間を表示せず、現在時刻を表示します。また、本体が熱いときも、現在時刻を表示します。
	●圧力表示(圧力)が点滅している		炊飯の中断 ●圧力炊飯中に「切」ボタンを押したり、電源プラグを抜くと、約30秒間点滅します。点滅中はふたを開けないでください。ふたをやむを得ず開ける場合は → P.16､18
	●「ー:ーー」表示または「H0」表示が出る		H0表示のときは切ボタンを押すとー:ーーになります。現在時刻を合わせ直してください。ー:ーーのときは、現在時刻を合わせ直してください。 → P.12
	●電源プラグを抜くと表示が消える		電源プラグを抜いて差し込むごとにー:ーーまたはH0表示になる場合は、本体に内蔵しているリチウム電池の寿命です。炊飯･保温はできますが、現在時刻を合わせないと予約はできません。お求めになった販売店にリチウム電池の交換(有償)をご依頼ください。(リチウム電池は専用品なのでお客様には交換できません)
	●「C1」または「C2」を表示する		延長コードを使ったり、同じコンセントで他の電気製品を同時に使ったり、電圧が下がったときなどに表示し、通電を停止します。延長コードは使わないで、コンセントは単独で使ってください。
	●「H1」～「H8」を表示する		「切」ボタンを押しても時計表示に戻らないとき、度々同じ表示になるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 → P.63
	●表示窓の表示が全て点灯した後、炊飯の表示になる(KVタイプのみ)		店頭用のモードに設定されています。「切」ボタンを5秒間押し続けると、表示窓の表示が通常の表示に戻り、炊飯･調理ができます。

こんなときは		ここを確認
内がまのフッ素被膜について	●色むらがある	ご使用とともにフッ素被膜に色むらが出ることがあります。異常ではありません。また性能や衛生上の問題はありません。 → P.28
	●傷がある	フッ素被膜を傷めないために次のことをお守りください。 「金属製のおたまや泡立て器などを使わない」「スプーンや茶わんなどを入れて洗わない」「酢は使わない」「みがき粉やたわしで洗わない」「付属のしゃもじを使う」 → P.28
停電について	●使用中に停電した	炊飯中：再通電後、炊飯を続けます。30分以上停電した場合は炊飯をやめます。 保温中：再通電後、保温を続けます。ごはんの温度によっては、保温をやめます。 予約(浸し)中：再通電後、予約(浸し)を続けます。
ふたについて	●閉まりにくい	圧力式で密閉度を上げるため､ふたを閉めるとき(炊き上がったごはんをほぐした後など)に重く感じることがあります｡少し強めに押しながらゆっくりと閉めてください｡
	●閉まらない	給水レスオートスチーマーの取り付け → P.26､27 ●給水レスオートスチーマーを取り付けていないと、通常の力ではふたは閉まりません。極端に強い力で閉めると、ふたが閉まることがあります。(取り付け忘れ防止)
	●開きかたが遅い	密閉度が高いため､フックボタンを押してからふたが開くまで少し時間がかかることがあります。
	●開かない	炊飯中は圧力がかかるため、フックボタンがロックされ、ふたは開けられません。無理に開けないでください。ふたをやむを得ず開ける場合 → P.16､18
本体とふたのすき間について	●すき間が広い	圧力がかかるとすき間は広がります。異常ではありません。 ふた加熱板部品の汚れ → P.26､27 ●調圧弁の穴が詰まっていたり、中のボールが異物で動かなくなっていると、圧力がかかってしまいます。ふた加熱板の調圧弁の穴とボールの汚れや詰まりを取り除いてください。
	●すき間から蒸気が出る	ふた加熱板の変形 ●ふた加熱板、またはパッキンが変形しています。新しいふた加熱板に交換してください。
●メロディー音がうるさい		メロディー音は低音のメロディー音、またはブザー音に切り替えられます。 → P.13
●テレビやラジオに雑音が入る		炊飯器との距離が近いと、テレビ画面のチラツキや雑音の原因になる場合があります。気になる場合は距離を離してください。(目安として3m)

■以上のことをお調べいただき、その上でご不審な点がありましたら、お買い上げになった販売店などにご相談ください。
■ふた加熱板や内がまが変形したり、フッ素被膜がはがれた場合は、お買い上げになった販売店などで新しくお買い求めください。